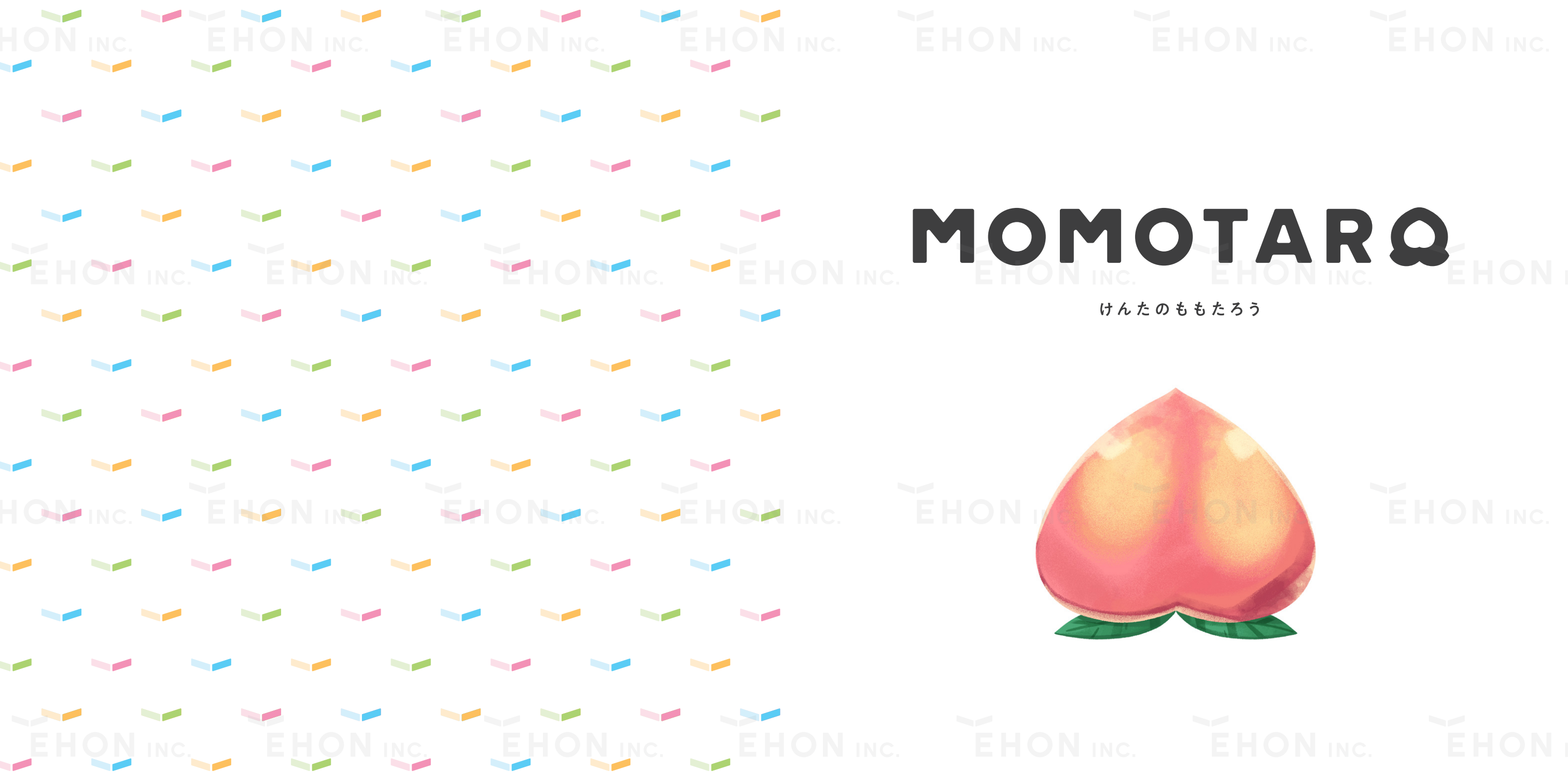


# MOMOTARO

けんたのももたろう





# MOMOTARO

けんたのももたろう



けんたは えほんがだいすき  
きょうも ももたろうに むちゅうです

わくわく どきどき  
きがつけば よもふけて  
あたりは すっかり まっくらに



うつら うつら  
あたまのなかが だんだんぼんやり  
うつら うつら  
まぶたがおもい  
もう めをあけていられません





The background is a warm, textured orange-brown color. It features a repeating pattern of the text 'EHON INC.' in a light, semi-transparent font. There are also white starburst and plus sign symbols scattered throughout. On the left side, there is a black silhouette of a character's head with spiky hair. In the center, a character with a yellow face and a white hat is peeking out from behind a white, rounded wall. The character has a neutral expression and is looking towards the right.

## どんぶらこ～ どんぶらこ～

なんだか みずに ゆられているみたい

「ばあさんや これはおおきな ももじゃのう」

「じいさんや いま きりますからね」

どこからか はなしごえが きこえます。

## パカン！

まぶしい ひかりが さしこんで

ふと めがさめた けんた

ぬっと ひとかげが あらわれて

びっくりぎょうてん！ さあ たいへん！





びよーん！

いきおいよくとびだした けんた

「やや これは どうしたことじゃ」

「ももから こどもが うまれてきたわ」

なんということでしょう

ここは ももたろうの せかいではありませんか！

「ももから うまれたことから ももたろうと なづけよう」

しかし けんたは くびを よこにふりました

「それじゃあ なんという なまえなんだい」

けんたは じぶんの なまえを なのりました

「そうかい そうかい けんたと いうんだね」





ももたろうの せかいでは なんだか からだが かるい!

ひとたび はしりだせば かぜのような はやさで びゅびゅんのびゅん  
ちからも もりもりわいてきて おおきなかごを えっちらおっちら ほういさっさ  
そのうえ のどのちょうしも いいようす すきとおるこえで るるら るらら♪



でも おじいさんと おばあさんは しんぱいそうなかお  
おにがしまの おにたちが ひとびとの だいじなものを  
とりあげていると いうのです

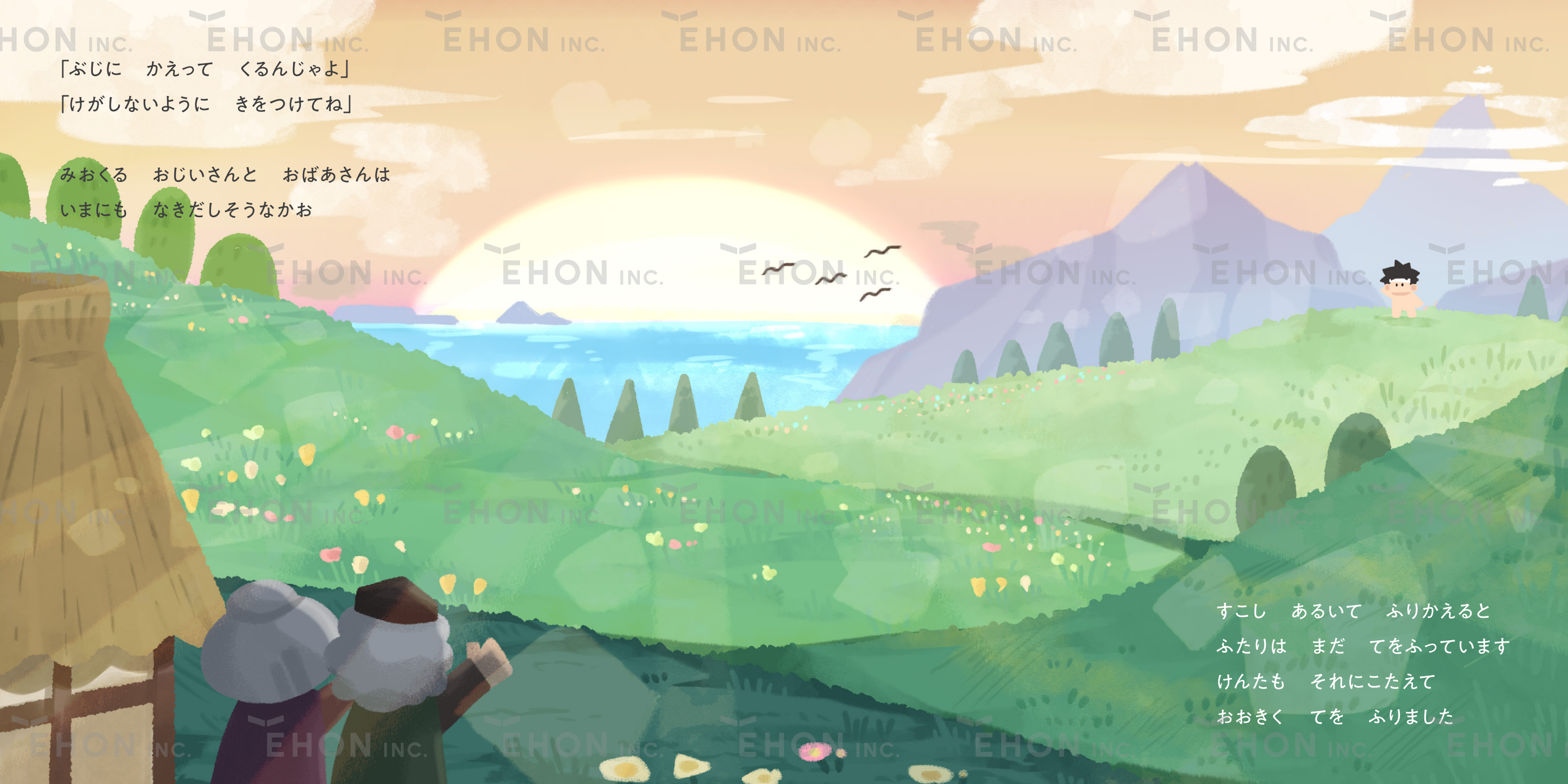
こまっているひとが いるならば いてもたっても いられない！  
けんたは とられたものを とりかえしに  
おにがしまへ いくことに きめました

おじいさんと おばあさんは ひっしで とめますが  
けんたの きもちが かわりません

「わかったわい きをつけて いくんじゃよ」  
「きびだんご つくったわ とちゅうで たべてね」







EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC.

「ぶじに かえって くるんじゃよ」

「けがしないように きをつけてね」

みおくる おじいさんと おばあさんは  
いまにも なきだしそうなかお

EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC.

EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC.

EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC. EHON INC.

すこし あるいて ふりかえると  
ふたりは まだ てをふっています  
けんたも それにこたえて  
おおきく てを ふりました





「ちょっと まちな うわさは きいているぜ」  
こえを かけてきたのは まっしろな イヌ

「おまえ あしが はやいんだってな おれと かけっこで しょうぶしろ！」

いちについて よーい どん！  
ぬきつ ぬかれつ おいかけ おいこし かぜのように はしりぬけ  
ふたりいっしょに ゴールイン！

「こんなに はやいやつは はじめてだ！」  
イヌは とても まんぞくそう

「いっしょにがんばったから おれたちは なかまだよな！  
おれが おまえを たすけるぜ」

けんたは うなずくと しろいきびだんごを あげました  
「これは うまい！ もっと はやく はしれそうだ！」



「ほっ ほっ ほっ まちなされ」  
きがつけば ちいさなサルが めのまえに

「おぬし ちからが つよいそうじゃな わしと うですもうでも しないかの」

イヌは ぷぷぷと ふきだしました  
「そんな ほそいうでじゃ けがしちゃうぞ」

ひじをついて れでいー ごー！  
うんせ うんせ ぐぐぐのぐ サルはぴくりも うごきません

「みためで はんだんしては いけないぞい」  
サルは ちからをスツとぬき しょうぶは おあずけに

けんたは ペこりとあやまり あかいきびだんごを あげました  
「ほほほ これはええ ちからが もりっと わいてくるぞい」





「ねえねえ きみたち どこいくの」  
ぱたぱた あらわれたのは はでなキジ

「ぼくね とても うたが すきなんだ ぼくの うたを きいて行ってよ」

サルは ゆかいそうに わらいました  
「これは にぎやかな やつじゃのう」

大きくいきをすって らんらん♪  
これまた よくとおる きれいなこえ!

つられてけんたも うたいだし イヌとサルは おどります  
「きみたちといると たのしいね ぼくも いっしょに ついていくよ」

けんたは にっこりわらって みどりのきびだんごを あげました  
「おいしい! なんだか もっと とおるこえが でそうだよ!」





こうして たのもしい なかまが できた けんた

ひろ~い のはらを はしりぬけ たか~い がけを よじのぼり  
たどりついた さきに ひろがるのは おおきな うみ!

「みるのじゃ うみの むこうがわ!」

サルが ゆびさした そのさきを じ~っと めをこらして みつめると  
うっすら うっすら みえてきた おおきく ぶきみな しまのかけ

どこまでも つづく うなばらの はるか はるか とおくのほう  
あれに みえるは おにがしま! ゆうきをだして ふねを こぎだせ!





「みんなで たたかえば ぜったい まけないぜ」  
イヌは いさましく いました

「あいてを よくみて たたかうんじゃぞ」  
サルは しずかに いました

「つらくても こわくても わらっていれば だいじょうぶ」  
キジは げんきに いました

ひとりだったら こわいけど なかまと いっしょなら なんのその！  
なみを かきわけ いざすすめ さあ いよいよ けっせんだ！



おにがしまに いっぽ ふみこめば  
あちらこちらから おそいくる たくさんのおに!

しかし なかまたちも すぐさま とびだして

おにの おやぶんの ところまで  
けんたの みちを つくります

おにの おやぶんは まるで やまのよう!

「おれたちを たいじしに きたのか」

もどから まっかなかおが おこって さらに まっかっか  
けんたと おにの おやぶんの  
はげしい たたかいが はじまります!





きーん きーん ずばーん

きーん きーん ずばーん

けんたの かたなど おにの おやぶんの こんぼうが  
はげしく ぶつかりあいます

いっしゅんの すきをみつけた けんた  
えいやと おもいっきり じゃんぷして  
おにの おやぶんの あたまを

ぽかり！

「うわあ！ やられたあ！」

おにの おやぶんは ずしりと たおれました





「おやぶん!」「だいじょうぶ?」

おにたちが おやぶんを しんぱいして あつまります

「おまえたちも おれたちを わるものに するんだろう」

おにの おやぶんは そういうと おおつぶの なみだを ながしました

「おれたちは にんげんと なかよくしたいんだ

だけど おれたちの かおが こわいって なかよくして くないんだ」

だから だいじなものをとったのだと おにの おやぶんは いいました

「みためで はんだんするのは よくないのお」

サルは ためいきを つきました

「わるいことを しちゃったけど わるいやつじゃ なさそうだよね」

キジは めずらしく しんみょうに いいました



「じゃあ おれたちと なかまになろう  
そして みんなに あやまりに いこう」  
イヌは おおきなこえで いいました

「ありがとう ありがとう」

おにの おやぶんは  
けんたのを  
がっちり にぎりました



おにたちは ひとびとに  
「ごめんなさい」と ペこり

「わしらも こわがって ごめんのお」

ひとびとも おにたちを こわがったことを あやまりました



これでめでたく なかなかおり!  
ひとびと おにたちは  
みんなで うたげを ひらきました  
やんや やんや  
わいわい がやがや  
みんな とっても たのしそう

けんたも  
とっても しあわせ  
でも がんばりすぎたからなのか  
なんだか とっても  
ねむくなってきて……





はっと めをさますと そこは じぶんのへや  
あこがれの ももたろうに なったのは  
ぜんぶ ゆめだったのでしょうか

でも よみかけの えほんからは  
きらきらと ひかりが……

絵本に  
入ろう。



えほんの ページの まんなかには  
けんたが うつつているではありませんか！  
どうやら あのぼうけんは ゆめではなかったみたいです





けんたくん、にゅうえんおめでとう！

これから、おともだちをたくさんつくって

たのしいまいにちを、すごしてね。

パパとママは、いつもけんたくんをみまもっているよ。

こまっているひとがいたら、たすけてあげて。

ももたろうみたいに

やさしくて、かっこいいおにいさんになってね。

2021年11月30日

えほん はい  
絵本に入ろう。

EHON INC.



ehon-inc.jp



けんたのももたろう

|         |   |
|---------|---|
| 作       | EHON INC. (えほんインク)  |
| 文       | どてらい堂(高橋健太)   |
| 絵       | ガーヤン  |
| 発行所     | 株式会社アッタデザイン<br>〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ607                           |
| 印刷・製本   | 石川特殊特急製本株式会社  |
| 総合企画・編集 | 株式会社アッタデザイン ( <a href="https://attadesign.co.jp">https://attadesign.co.jp</a> ) |

この本に関するお問い合わせ先（落丁や乱丁本について／ご意見・ご感想等）は、[support@ehon-inc.jp](mailto:support@ehon-inc.jp) まで。  
本書の一部あるいは全部を無断転載、複写・複製することを禁じます。法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。



